

マルティナが  
妖魔軍王の

ケツ穴  
肉便姫

に  
墮

まで



脱糞描写があります

レッツ  
ダンシング!

ブギーは  
超さそうおどりを  
おどった!

ボクちんのは  
こんなもんじゃないぞ

くっ  
体が勝手に…

グロッタの街に  
グリーンオーブが  
あるという情報は  
正しかったが…

まさかオーブの  
魔力を得た魔物が  
これほどまでに  
力を持っていたとは…

うひょろ  
プルンプルンの  
おっぱい

揺れてたまらん  
じょろ グッフ

マルティナは  
つられて おどっ  
てしまった!

油断したわ

こんな豚の様な  
魔物に苦戦する  
なんて

ボクちん  
我慢ができなく  
なりそうだよ

早く状況を打開  
しないとマズいわね…

戦いの最中に  
あんなモノを…!

それにしても  
このニオイは  
何かしら!?

甘酸っぱい香り  
頭がポーツとして  
体が熱い

勇者一味の  
マルティナ  
魔王様から  
聞いていたが

とってもセクシーで  
ボクちゃん好みだなあ

おっと体の異変に  
気が付いたかい？

股間が疼くだろうか？

この香りは  
ラブリーエキス

ラブリーエキス  
ですって!?

それにお腹に  
溜まる熱い感じ  
触れたくて  
たまらなくなって  
きちゃう

さあさあ  
もっと

エッチなダンス  
見せて欲しいじよ

女の子たちから  
搾ったエキスさ

ボクちゃんが  
作らせてる  
特別製だよ

効くだろうか？

ずわ  
ずわ

マルティナちゃん  
からもツンとした  
ニオイがするじよ

いいエキスが  
出来そうだ  
グフッ

汚らわしいわね

まだ戦いは  
終わってないわ  
その鼻へし折って  
やる

おっとそんな事  
言ってる余裕は  
無いと思うじよ

# 第三の目の発動!!

## カッ



なっ!?  
何コレ!?

体が勝手に  
動いてッ

もっともっと  
マルティナちゃんのお下品マンスリ

見せて欲しいじよ

それッ!

ムフフ  
下品なマンスリ  
ですぞお

やめっ

あああああ  
あああああ  
あああああ

あひゃあ  
あひゃあ  
あひゃあ

あひゃあ  
あひゃあ  
あひゃあ

ガク  
ガク  
ガク

アッ  
アッ  
アッ

愉快だしよ  
愉快だしよお

勇者の仲間でも  
こんなに簡単に  
操れるなんて

さあ今度はこっちの穴を  
見せてもらおうか

そこはッ！

これがデルカダールの  
姫君のケツアナ

毛がモサモサで  
なんて下品なんでしょう  
グフフ...

誰にも見せた  
ことのない秘部を  
こんなはしたなく  
広げさせられる  
なんて...

威勢のよさが  
増々可愛いじよお

グフフ  
美しいのに  
ここはしっかり  
糞のニオイが  
するじよ

こんな豚に  
尻を嗅がれて  
股を舐められるなんて

やめなさいっ！  
気持ち悪い...

さて  
デルカダール姫の  
尻はどんな味が  
するのかな

あっ!?

こんな恰好を  
させて...ただで  
済むと思うっ

オナラ止まらない  
これもコイツの  
仕業なの!?

おおっ  
クサイじよお  
下品なおナラ  
だなあ

必ず殺して  
やるわ!

殺す!

やめろお!!

モサ

ニ

ド

モサ

フ

カ

ぬ



ズッ

苦味と甘さが  
絶妙美味  
やはりほかの女とは  
別格の味だじよお

あまあま

ヤメッちね

ズッズッ

あッあッ  
あッあッ  
あッあッ

ズッ

嫌アア

あッあッ

舌がお腹で  
動いて…擦れて…  
鳥肌が収まら  
ないわ

腸壁を舐められる  
感覚はどうだい？  
全身の力が抜けちゃう  
かなあ？

もっと奥まで  
伸ばして  
味わっちゃうじよ

お尻ツ  
お尻広がって

ダメツ  
閉じないツ

又ホホ  
気持ち良すぎて  
失禁しちゃったね  
ボクちん  
嬉しいじよお

あほッ

足に力が  
入らないツッ！

だめッ

ダメダメツ

気持ちいいい

お尻の穴で

イクツ

こんなのダメツ

あッあッ  
あッあッ  
あッあッ



くっ...!  
まだ...!

まだ戦いは  
終わっていない  
わよ...!

オーブの力で  
操っても  
正気を  
保てるなんて

マルティナちゃん  
増々惚れちゃったじよ

絶対ボクちんの  
モノにしてやるじよ



グワッ  
まずはボクちんの  
高貴なちんぽが

アナルに入るように  
してあげるじよ

人間のオマンコは  
小さくてやわで  
広げてもすぐ  
裂けちゃうからねえ



グロッタの街  
地下洞窟にて

女性器に小瓶が  
取り付けられて  
いる...!?

今日はこの娘達  
から原液を  
たっぷり回収  
するじよ

マルティナちゃんの  
アナル拡張の任務

お前たちに特別に  
任命するじよ!

ボクちんは  
エクス作りで  
忙しいからね

どうだい?  
凄いでしょ?  
でしょ?

ボクちんの  
エクス製造部屋  
だじよ!

もわ  
もわ

あれから何日が経っただろう…

ラブリーエキスの  
充滿した  
地下洞窟で  
他の女達の悲鳴を  
聞きながら  
モンスター達に  
蹂躪される時間が  
続いたわ…

乳首の感度を  
上げられ  
女性器には触れず

執拗に尻の穴  
ばかり翫られる  
尻穴以外でイク事は  
許されなかった…

私の無力さを  
嘲笑うかのよう  
に  
低級のモンスター  
ばかりあてがわれる

マヌーサ  
メダパニ…

民衆の前で  
仲間たちの前で

下品に尻穴で  
イク幻覚を  
見せられる

まるで、過去に  
本当に下品な行為を  
したかの様に  
背徳感が刷り込まれ  
体も心も変態行為に  
慣れていった…

ほどなくして  
私の尻は  
なんでも飲み込める  
ほど大きく開く様  
になっていったわ…

そして—







悪趣味ねッ

お腹の中で  
バブルスライム達が  
動き回って気持ち悪い

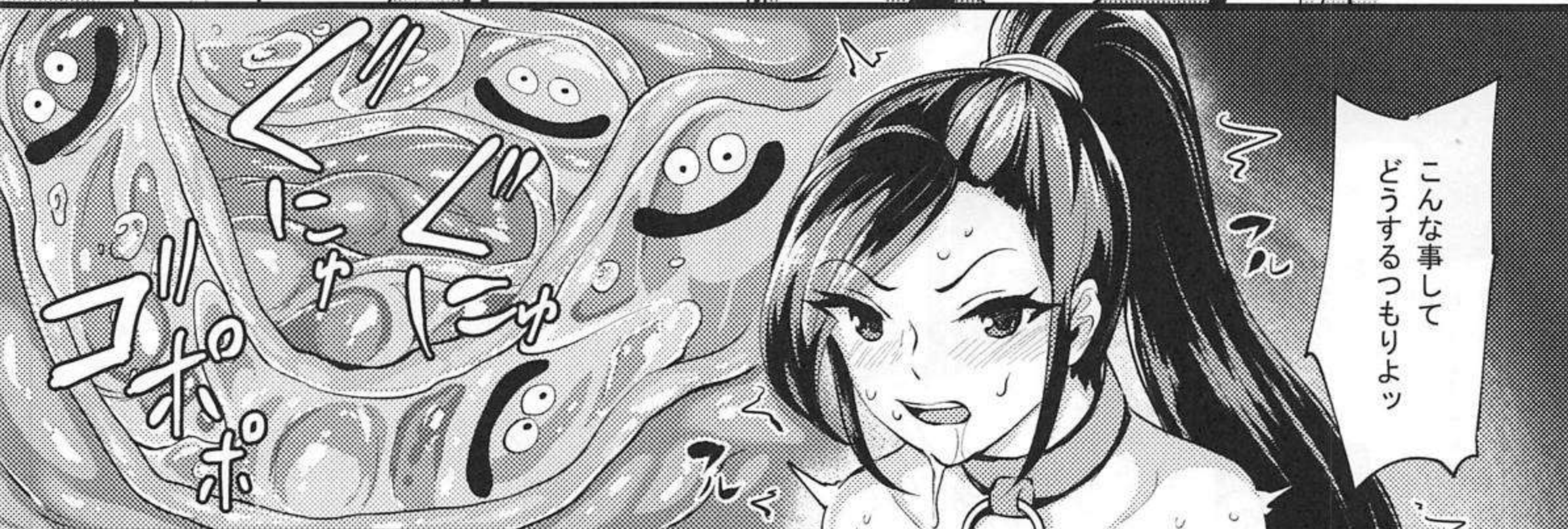


ボクちゃんが  
許可するまで  
出せないからね

可愛い声だなあ  
体は随分素直に  
なってきたじよ

苦しいだろう？  
バブルスライムの  
毒と言っても

腹の中から  
味わった事は  
ないよねえ  
グフフ



こんな事して  
どうするつもりよッ



ダメッ  
お腹が限界  
出したいッ



いくら辱めを  
受けたって

私はアンタには  
絶対に従わないわッ



マルティナ  
HP: 1  
MP: 0  
どく

なんですって!?

その精神力は  
見上げた  
ものだよ  
でも肝心な事  
わかってない  
ようだよ?

さすが高貴な  
お姫様  
勇者と一緒に  
居たのも納得だよ

もうお前は  
ボクちゃんに  
逆らう体力は  
無いって事さ  
いくら耐えても  
無駄無駄無駄



黙れ!

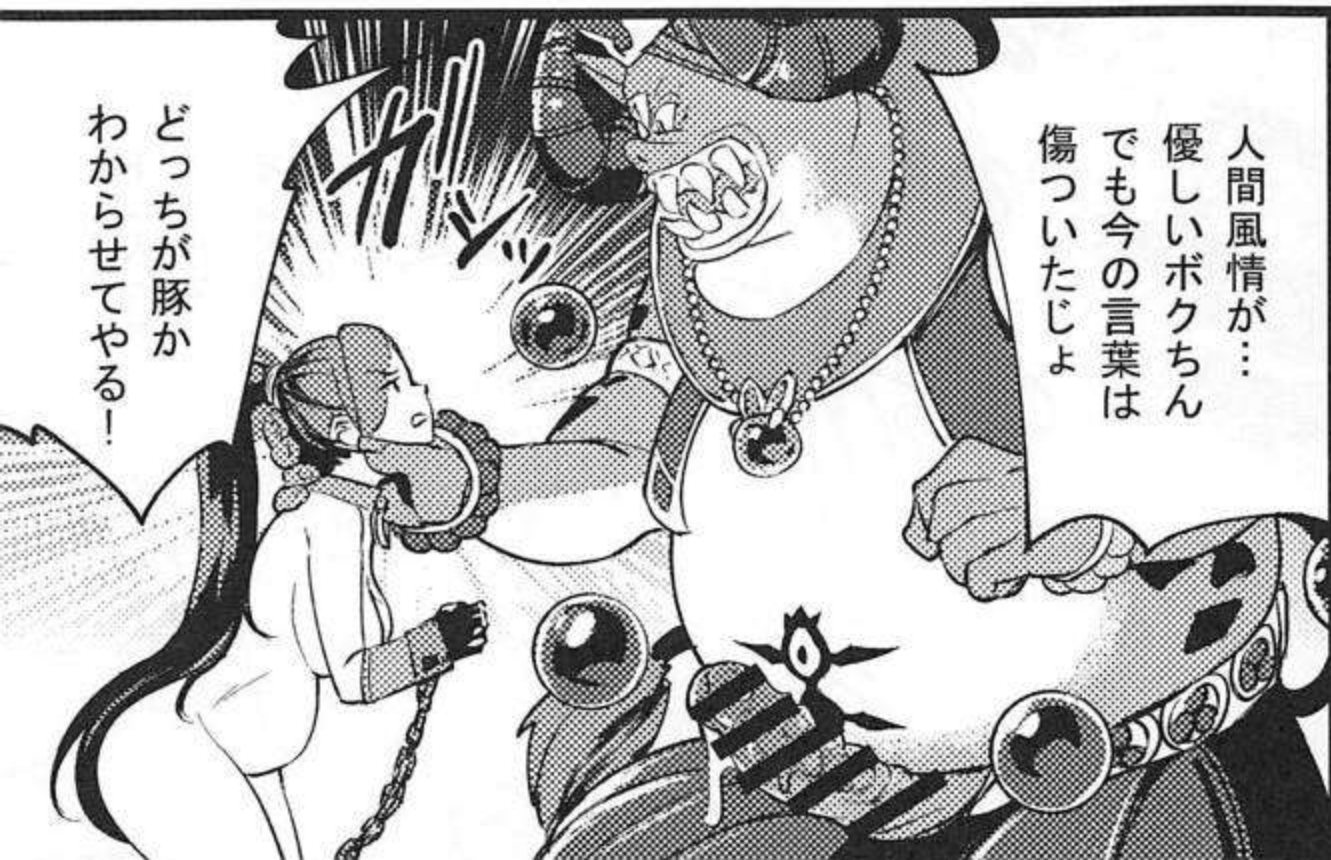
黙れ!  
黙れ!



フン!  
アンタみたいなの  
汚らしい豚に  
何されても屈しないわ

豚だと!?  
このボクちゃんが!?

そうよ!  
オーブさえ無ければ  
何もできない豚じゃない



人間風情が:  
優しいボクちゃん  
でも今の言葉は  
傷ついたらしょ

どっちが豚か  
わからせてやる!



フハハ  
美しい顔が  
台無しだじよ

豚面が  
お似合いだじよ  
マルティナ姫

女の顔に  
なんて事を……！  
最低だわ



アレを持って  
くるんだ



!?  
待って何を!?



分からず屋の  
姫様だなあ

キツイお仕置き  
しちゃうじよ



そんな事したら  
お尻がッ

おおおお  
おおおお  
おおおお



お尻に入った  
スフィアを  
いきなり抜いたら

マルティナちゃんの  
お尻はどう  
なっちゃう  
のかなあ？



プフフ 勢い余って  
バブルスライム達が  
飛び出しちゃったじよ

豚みたいな声出して  
下品極まりないじよ

あひい  
あひい  
あひい



まさか...!?

こんな時に...

うぐっ

ダメ今出す  
わけにはあああ



バブルスライムを  
排泄してイっちゃった  
んでしょーか

お尻ッ♡  
気持ち  
良すぎるー♡♡  
ブル



嫌あああだめええ

うあああ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ゴッ

オフツ  
とても  
臭いじよ



これが豚人間の糞のニオイか



あああッ  
ダメッ

お尻ッ  
めくれちゃッ



空气が触れてッ  
イクッ  
うううう  
止まないッ

脱糞アクメ  
きもちのいい



お尻が苦しそう  
だじよ?

ボクちん専用の  
アナル姫になるって  
懇願すれば  
コレで栓をして  
あげよーかなー?

ホラ  
ホラ

はー  
はー

濃いニオイ：  
これが魔物の：

自由に  
あがるから  
選んでいいじよ

ボクちんって  
優しいなあ



殿方と契りを  
交わす時まで  
性交など：  
まして魔物に  
体を許すなんて  
あつてはならないわ

でも：  
あの大きさの  
モノがお尻に  
入ったら  
さぞ気持ちい  
でしょうね...

この女たちは  
みんなアレを  
お尻に：

ああつ  
今すぐ尻の穴を  
太い何かで  
かき回したい

さあどうする  
んだじよ?



幸い女性器  
には興味が  
無さそうね：  
純潔さえ守れば  
魔物に尻の穴を  
許しても：

…入れて  
くださいッ

フンツ  
言い方が  
違うじよ！

ブギー様の  
高貴な  
おちんぼを

豚人間の  
わたくしめの  
汚い尻穴に  
どうか入れて  
くださいッ

肉欲に惑わされて  
私は何を言ってる

待ちわびたよ  
この時をッ！

最初から  
ボクちゃんに  
従えば  
いいんだよッ！

グフッ  
グフッ

まっ待って  
あまあま

これがッ  
おちんぽっ  
おちんぽっ  
しゅんぽっ  
いいいい

こんなのっ  
お尻がああ

お前なんて  
ボクちゃんの  
肉便器だッ

豚人間！

ついに  
マルティナが  
ボクちゃんの  
ちんぽを  
求めたじよ

いくつ  
いくつ  
おおお  
お

力の無い  
人間めっ！

ちんぽ奴隷  
なんだよッ  
わかったか！

42

42

このグリーンオーブの  
カさえあれば

ボクちんの  
思いのままって  
事だじよ

勇者は世界を  
救えたか！

魔王様の前に  
敗れた者に  
何ができる！

肉欲にまみれた  
人間のメスは

せくんのぶ  
ボクちんの  
ちんぽ奴隷に  
なればいい  
んだよッ

イキ晒せ

オラッ！！





何を寝てるんだじよ？

ポクちゃんに  
ちんぽおねだり  
したのは

子猫ちゃん  
だじよ

肉欲に負け  
魔物に体を  
許してしまった  
私は...

.....

まだまだ  
たっぷり

はー

ハメハメ  
するじよ

ブル

はっ

はっ

姫として、  
人間としての  
尊厳を失って  
しまったわ

この時を境に  
心の光は消え失せ  
湧き上がる闇が  
私を支配して  
しまったの

世界を救おう  
だなんて  
おこがましい

あはっ♡  
ブギー様のお  
チンポッ♡  
ケツのアナに  
フィットして  
最高ですう♡

肛門が下品に  
広がって  
気持ち良すぎるう♡  
マルティナの  
ラブリーエクス  
溢れて来ちゃいますう♡

はあい♡  
愛しの  
ブギー様あ♡

束の間の  
享樂の時を  
楽しむ方が  
楽しよね♡

全てが破滅に  
向かうなら

グフフっ  
こんなに淫乱な  
子猫ちゃんだとは  
思わなかったじよ  
ポクちゃん嬉しいじよ  
さっ もっと  
ポクちゃんのチンポを  
味わうが良い

ズッ  
ズッ

たっ  
ちんぽ

たっ  
ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ



## 奥付

発行 Bonsketch  
発行者 ぼんすけ  
発行日 2018/12/31  
コミックマーケット95  
連絡先 bonsketch@gmail.com  
印刷・製本 K9様

HP URL <https://bonske.wixsite.com/longrest>  
Pixiv ID 10308791  
Twitter <https://twitter.com/bonske029>  
fantia <https://fantia.jp/fanclubs/2054>

## CAUTION!

この作品の内容の一部・または全てを無断で転載する事を禁じています。  
この作品は成年向けです。18歳未満の未成年の購入・閲覧を禁じています。  
この作品に含まれる全ての物語はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係がありません。

**DOJIN**  
**R18**  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止